

令和 5年度補正
品目団体輸出力強化緊急支援事業活動報告書【タイ】
(海外等における販路開拓活動)

1. 事業実施主体

JA 全農インターナショナル株式会社

2. 対象国

タイ

3. 実施店

FUJI SUPER

GOURMET MARKET

VILLA MARKET

TFH

TOPS

4. 実施 概要

日本産青果物の輸出拡大を目的に、店頭での PR 販売を実施し、販売員による丁寧な説明により、日本産青果物の特徴などのアピールを行った。

PR 販売に当たっては、販売店と相談の上、オリジナルパッケージによる販売を含め、販売棚の装飾を行い、消費者の需要喚起をする取り組みを積極的に実施した。

5. 期間

2024 年 6 月～2025 年 1 月

6. 内容

プロモーターによる試食、商品の PR、販売棚の装飾

7. 販促品目

桃、メロン、柿、いちご

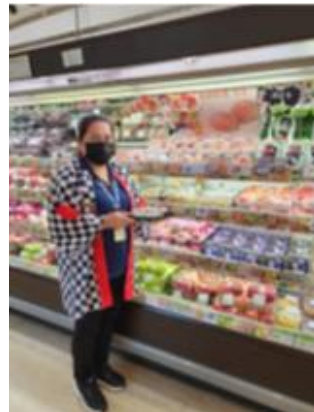
【6月】

品目	店舗	期間
桃	FUJI SUPER 2店舗	6/29-7/6
	GOURMET MARKET 1店舗	6/29-7/6

【桃】

福岡県産桃の旬である6月下旬～7月上旬に合わせてぶどうも出荷し、現地のプロモーターによる試食販売を実施し、日本産桃の品質の高さ（食味・見栄えなど）をアピールした。消費者の購入しやすさも鑑み、小玉のパック品での対応を行った。

桃に関して、タイ人には触感が柔らかすぎて甘みにかけるが、香りはとても良いと評価があった。日本人からも、甘みにかけるが非常に良い香りと評価があった。その他、ヨーロッパ人からも同様の感想があり、初夏の桃は甘みではなく香りを前面に押し出していく必要があると考える。ぶどうに関して、タイ産ぶどうよりも甘みや香り、食味が良く、大変好印象であった。家庭用だけでなく贈答用としても購入される方が多かった。ぶどうについては今年からフェアに取り入れて大変好印象であったため、来年も引き続き扱っていきたい。



【8月】

品目	店舗	期間
柿	TFH 5 店舗	8/9-8/12

【柿】

福岡県産日川白鳳桃の旬である 6 月下旬～7 月上旬にかけて、現地のプロモーターによる試食販売を実施し、日本産桃の品質の高さ（食味・ 見栄えなど）をアピールした。消費者の購入しやすさも鑑み、小玉のパック品での対応を行った。着果状況は概ね良好であったが、一部輸送時（航空便着陸時）のダメージと思われる押されによる劣化が見られた。次年度は緩衝剤の対応等を産地と検討する。店頭に並べた桃については、熟度を考えて納品を実施したが、消費者からはジューシーでとても美味しいという声と、若干甘みに欠けるとの声があった。店頭での販売時期から逆算した集出荷を実施したが、次年度については本年度の現地からのフィードバックをもとに出荷時期についてより精査する。前述のとおりハウス期の高単価の桃のため、消費者が手に取り易い小玉のパック品の販売を行ったが、一部の消費者からは食べ応えのある大玉の品ぞろえの依頼があった。次年度は大玉のバラ品の品揃えも検討して行きたい。パック品のため、お土産に最適との声もあり、他の品目でもパック品の品揃えが必要と感じた。

TOPS FOODHALL CHIDLOM



TOPS FOODHALL BANGNA



TOPS FOODHALL LADPRAO



GOURMET MARKET SIAM PARAGON



【11月】

品目	店舗	期間
メロン	TOPS 5 店舗 GOURMET MARKET 1 店舗	11/21-11/24

【りんご】

静岡県のカラウンメロン支所よりタイ向けのカラウンメロンの提案があり、昨年に引き続きの出荷となった。メロンのタイ向け出荷は非常にハードルが高く、タイの検疫官を日本に招聘して産地の出荷前検査が 2 日間に渡って行われた。高級品かつ貴重なメロンとして、外国人や富裕層向けの高級スーパーTOPS にて販促を実施した。

プロモーターによる試食販売を実施し、日本産桃の品質の高さ（食味・見栄えなど）をアピールした。タイ向けの出荷は検疫官の招聘に合わせて出荷を組む必要があり、数量が限られるほか、コスト面などを鑑みると出荷は年一度のみ。貴重なメロンを訴求しながら様々なお客様に試食を楽しんでいただきながら販売した。タイや韓国産のメロンと比べ、甘さや香り、柔らかさが特徴的で美味しい。価格は決して安くはないが、品質を鑑みるとこの単価が妥当である。化粧箱での販売のため、視覚的にも非常に映える商品で、期間限定ではなく通年販売されていればお土産やプレゼントに選びたい。



【1月】

品目	店舗	期間
柿	VILLA MARKET 1店舗 FUJI SUPER 2店舗	1/9-1/15
いちご	TOPS 5店舗 GOURMET MARKET 1店舗	1/9-1/15

【柿】

年明けも出荷ができる冷蔵貯蔵品の福岡県産富有柿を出荷し、露地からのリレー商品と販促を実施した。他国産との違いをアピールするために、マネキンを配置し試食を行った。ターゲットは外国人と家族連れ、お年寄りの方々と、日系量販店を中心に販促を実施した。プロモーターによる試食販売を実施し、日本産柿の品質の高さ（食味・見栄えなど）をアピールした。タイでは中国産など他国産の柿が多く流通しており、それらとの差別化を図るべく販促活動を行った中国産の柿のような渋みがなく、見た目も食味もよかった。甘みやジューシーさ、皮が薄いことが評価され、試食をした後に購入される消費者が多くいた。見た目の良さから贈り物として購入される方も多く、食味だけでなく見た目が好評だった。中国や韓国の柿よりも高価であったにもかかわらず、プロモーターの味と食感が顧客を説得し、試食してから購入した。



【いちご】

日本産苺の最盛期を迎えるにあたり、タイ人の中間層の顧客の多い Tops の 4 店舗、日本人が多く住むエリアにあり、食料品や日用品で連日賑わっている UFM FUJI の 2 店舗にて販促を行った。

苺の旬である 2 月に、現地のプロモーターによる試食販売を実施し、日本産苺の品質の高さ（食味・見栄えなど）をアピールした。

昨年度は他の品種も合わせた販促を行ったが、本年度については昨年度の販促にて一番人気のあった福岡県産あまおうに特化した販促を行った。

